校報　ふれあい

第３１１号
Ｒ５．９．１９発行
発行者
雲南市立田井小学校
校長　井 上　孝 弘

クラブ活動：水鉄砲づくり

２学期スタート

３９日間の夏休みを終え、８月２９日（火）に２学期が始まりました。

夏休み明けは、心身ともにバランスを崩すことがありますが、１３名の田井っ子は、全員そろって登校し、元気に２学期のスタートを切ることができ、嬉しく思いました。

今年は、新型コロナウィルス感染症への心配が和らいだ夏となったので、遠くへ遊びに行ったり、たくさんの人と出会ったりし、学校ではできない体験や経験をたくさんできたのではないかと思います。ただ、感染はまだまだ続いていましたし、熱中症のこともありましたので、心配することも多々あったのでないかと思います。このような中ではありましたが、子ども達は、保護者や地域の皆様の支えにより、この夏を楽しく有意義に過ごし、学校生活への「やる気」や「自信」を蓄えることが出来たのではないかと思います。ありがとうございました。

このようなスタートの中、始業式では、より充実した２学期となることを願い、次のような話をしました。

１・２年：保小交流

夏休み中、印象に残ったことは、夏の高校野球全国大会で活躍した慶応高校が野球をやる上で掲げていた『エンジョイ・ベースボール』という考え方です。

慶応高校では、『エンジョイ・ベースボール』を「野球ってもともと楽しいものだよ　だから楽しくやろうよ」ということだったり、「野球が上手くなったり、試合に勝てるようになるために、自分や仲間たちで考えて練習をしたりして、野球が上手くなったり、試合に勝てるようになるって楽しいことだよ」と考えて、野球に取り組んでいたそうですが、このような考え方は、学習することも同じだと思いました。

『エンジョイ・ベースボール』ですから、『エンジョイ・スタディ』ということになると思いますが、『エンジョイ・スタディ』を慶応高校のように考えると、「学習して、わかるようになったり、できるようになることって楽しいことだよ　だから楽しくやろうよ」ということだったり、「わかりたいことやできるようになりたいことを自分で見つけ、そのための方法を自分で考え、自分で学習したり、練習して、わかるようになったり、できるようになったら、もっと学習が楽しくなるよ。」ということになると思います。ですので、このように学習できたら、皆さんの「やる気」がどんどんふくらみ、あふれてくると思います。今日から２学期です。みなさん一人一人が充実した良い学期になるように、ぜひ、この『エンジョイ・スタディ』の気持ちで、学習に取り組んでほしいと思っています。

そして、慶応高校の皆さんには、「笑顔」があふれていました。野球を楽しんでいるからこその「笑顔」であると思いますが、部員100人以上の野球部で、先輩も後輩もいます　試合に出ることができる人もできない人もいます　そんな中、みんなが「笑顔」で野球を楽しむことができているのは、部員一人一人が仲間一人一人を大切にしているからだと思います。

このことも、同じです。この田井小学校も、「笑顔」があふれることをめあてのひとつにしています。慶応高校の皆さん一人一人が仲間一人一人を大切にしているように、みなさんも、この２学期、一人一人が仲間一人一人を大切にすることで、もっと「笑顔」あふれる田井小学校していきましょう。また、２学期には、人権週間もありますので、「人を大切にする」ってどんなことなのか、しっかり考えてほしいとも思っています。

さらに、２学期は授業日数が８１日あります。1年で一番長い学期になりますので、学習発表会などの様々な行事や日々の学習や生活の中で、できることやわかることがどんどん増えると思います。どんどん自分に力をつけるチャンスです。そして、その力をどんどん「自信」にしてほしいと思っています。慶応高校は、「エンジョイ・ベースボール」で部員一人一人が成長し、全国優勝という最高の「自信」を手にすることができました。みなさんも、「エンジョイ・スタディ」でどんどん自分に力をつけ、２学期も、みんなで、「自信」あふれる田井小学校にしていきましょう。

４本柱「たたら・炭焼き体験」

「吉田中校区で大切にしたい４本柱」の一つは、「たたら・炭焼き体験」です。今年度は、５・６年生が炭焼き体験学習を、和泉勉さま、勝部昇さま、陶山征郎さま、廣野進さま、立石幸さまに地域講師としてご指導いただき進めています。

《窯入れ・火入れ》

９月１２日（火）、窯入れと火入れを行いました。初めに、炭の原料となる木を炭窯の中へ順番に縦に並べ、天井との間にできたすき間に細い木を詰めていきました。窯の中が木でいっぱいになると、焚口を作っていきました。和泉さんがレンガと粘土を使って巧みに焚口をつくられる姿を子ども達はとても興味深そうに見ることができました。

また、(株)キラキラ雲南の方数名も、炭焼きを学びに来校されました。

炭出しと炭切りについては、１０月１７日（火）に行う予定です。

小中交流

吉田コミュニティスクールの目的を達成するために「保小中の一貫・連携した保育・教育を行うこと」が大事な手段の一つであることはお知らせしておりますが、その一環として、今年度より、９月８日（金）に行われた吉田中学校の体育祭の見学に全校で出かけました。小さな取組ですが、吉田町内の先生方の話し合いの中で生まれた取組です。このような取組を積み重ねることが大事だと考えています。

校内研究

本校では、研究主題を「自分の思いをもち、伝え合おうとする子供の育成～個に応じた指導を通して～」として校内研究に取り組んでいます。昨年度から新たに主題等を設定した取組で、

① 児童一人一人の強みや弱みを把握し、「指導の個別化」や「学習の個性化」を図れば、自分に合った学習方法を身につけ、自信をもって学習に取り組む児童が育つだろう。

② 伝え合う場や協働的な学びの場の設定を工夫すれば、他者との交流を自身の学びに生かす児童が育つだろう。

の２点を研究仮説として、全学級が研究授業を行うなど研究活動を進めています。

《研究授業（５・６年学級）》

９月６日（水）、５・６年学級が算数の研究授業を行いました。

今回は、５年生が単元『形も大きさも同じ図形を調べよう（合同な図形）』の中で、「辺の長さや角の大きさに着目して「合同」の意味を理解する。」ことをねらいに、６年生が単元『形が同じで大きさがちがう図形を調べよう（拡大図と縮図）』の中で、「辺の長さや角の大きさに着目して「縮図」や「拡大図」の意味を理解する。」ことをねらいにして行われました。

５・６年生の算数の授業は、学年ごとの内容を学習するので交わることはほとんどありません。しかし、今回は「辺の長さや角の大きさに着目する」という同じ視点をもとに交流する場面を設定したものでした。子ども達はより多くの他者の考えや様々な情報を取り入れることができ、単元のイメージが膨らんだり、学習の必然性が高まったりしているようでした。

また、問題の解決の見通しを持つための「今日のカギ」を確認しながら、子ども達一人一人が問題を粘り強く自力で解決する姿に「成長」を感じることができました。

また、今回は、出雲教育事務所の早川指導主事さんの訪問指導も受けることができ、３人の授業を大変に褒めていただきました。

田井小人権週間【９/11～15】

本校では、９月１１日（月）～１５日（金）の週を田井小人権週間とし、下記のような内容などの人権教育に集中して取り組みました。

① 人権集会
② 人権に関する学習の授業公開
③ 人権・同和教育に関する研修会
④ 人権標語の作成
⑤ 人権に関する本の紹介

始業式で話した「他の人を大切にする」ってどんなことなのか、この週間の様々な学習をとおして、多くの気付きがあったり、より深く考えたりできたのでないかと思います。

主な学習の様子を紹介します。

《人権集会》

９月１３日（水）には、全校で人権集会を行いました。

自分だけでなく、他者のことや他者の考えを感じることができる体験的な活動（あわせアドジャンやりんごをかこう）をとおして、子どもたちは、「自分と同じだったり違ったりすることや相手の思いや考えを受け止めることについて考えること」ができました。また、各学級で友だちが頑張っていることや友だちにしてもらってうれしかったことをほかほかハートに書くことで、「自分や友だちのよさに気付くこと」ができました。

「他の人を大切にする」ことのより具体的な姿だと思います。今回の気づきをより深めることで、日々の言動につながっていくことを期待しています。

《人権に関する学習の授業公開》

９月１４日（木）には、今年度３回目の授業公開日として、人権に関する学習の公開を行いました。

１・２年学級:道徳

資料「こんすけさんのたん生日」をとおして、分け隔てしないで、誰とでも仲よくしようとする心情について考えることができました。

ひまわり学級:自立活動

単元「自分の気持ちを見つめよう感じよう」の中で、自分の気持ちに意識を向けながら、安心しているときと緊張しているときの自分の心の違いに気付くことができました。

３・４年学級:学活

題材「自分の考えを伝えあおう」の中で、物事の考えは人によってそれぞれ違いがあることや友達の多様な考えを尊重することの大切さに気付くことができました。

５・６年学級:道徳

資料「思いを伝えるのはむずかしい」をとおして、よりよいコミュニケーションのあり方について理解を深め、相手のことを考え尊重しようとすることについて考えを深めることができました。

《人権同和教育に関する研修会》

授業公開後、保護者及び教職員、地域の方を対象に、人権同和教育に関する研修会を行いました。今回は、雲南市人権センター人権・同和問題教育啓発指導講師である高木広明先生を講師に、「子育てと同和問題」と題し、ご講義いただきました。

いまだに解決されていない同和問題につい

て、まずは、正しく知ることが大切であることを、小・中学校の教科書に見られる同和問題に関する記述等からご講義いただきました。そして、解決のために、「保護者(大人)としてどう生きるべきか」として次のようにまとめられ、今後の本校の同和教育の在り方と私たちの生き方を考えるご示唆をいただきました。

差別と出会ったときに生き方が問われる
◇差別する側に立たない
◇差別に加担しない
◇差別を傍観しない
◇誤解や偏見を批判できる力をつける
◇人権を通した新しい出会い
「誰かのこと」ではなく、自分の問題として人権について考え、人権を語れる人になってほしい。

《人権標語の作成》

人権週間の様々な学習の成果として、子ども達一人一人が人権標語を作成します。

作品については、１０月号で紹介します。

《人権に関する本の紹介》

学校図書館に図書ボランティアさんの協力で「人権にかかわる本」のコーナーを設け、子ども達がいつも以上に本に触れる機会を増やしました。また、しゃぼんだまタイムや学活などで、「人権にかかわる本」を読み聞かせする機会も増やしました。

今月もご支援ありがとうございました

この１ヶ月の間も多くの地域の方に、子ども達の「よりよい成長」を支えていただきました。ありがとうございました。

《水鉄砲づくり》

９月８日（金）のクラブ活動（３～６年生）では、２名の方のご指導のもと、水鉄砲づくりを体験することができました。事前に竹を加工していただいていたので、子ども達もスムーズに作り上げ、残暑の中、水鉄砲で気持ちよく遊ぶことができました。

《秋のはじまりコンサート》

９月１１日（月）には、田井地区振興協議会さん主催の「秋のはじまりコンサート」に全校でお招きいただき、コントラバスとピアノの演奏を鑑賞することができました。

秋のはじまりに、柔らかなコントラバスとピアノの響きの中、心穏やかな時間を過ごすことができました。

お知らせ～ホームページ更新～

２学期もホームページを更新し、日々の学校の様子を簡単にお伝えしています。

校報よりも写真は見やすいですので、たくさんの方にご覧に頂けると嬉しいです。**「雲南市立田井小学校」で検索**し、ぜひご覧ください。

お　礼

８月２０日（日）に吉田町内学校一斉奉仕作業を行った際には、多くの保護者の皆様をはじめ、田井地区振興協議会の皆様にもご協力いただきました。おかげさまで気持ちの良い環境の中、２学期を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

今後も、田井の子ども達はもちろんですが、吉田町内の子ども達を吉田町内の大人たちで支える取組にご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

今後の主な行事予定（～10/31）

＜9　月＞

26日（火）　校内ロードレース大会①
27日（水）　和田スクールカウンセラー来校
　　中学校体験（6年生）
28日（木）　修学旅行結団式・交流会（高学年）
29日（金）　マラソン川内優輝選手来校　クラブ

＜10　月＞

4日（水）　吉小との交流会（低学年）
5日（木）　修学旅行1日目（高学年）
6日（金）　修学旅行2日目（高学年）
12日（木）　市陸上大会（3～6年生）
15日（日）　うんなん家庭の日
18日（水）　支援ボランティア（芋ほり）
　　和田スクールカウンセラー来校
19日（木）　授業公開日　給食試食会　学級懇談
20日（金）　委員会
23日（月）　お弁当の日　遠足（1～4年）
25日（水）　校内ロードレース大会②
27日（金）　クラブ